



お知らせ

ふしぎなふしぎなおはなしかい

5月5日(木・祝日)に、「ふしぎなふしぎなおはなしかい」を開催します。時間は11時から11時50分まで。どんなふしぎが待っているのかは、図書館に来てのお楽しみです。

参加費は無料。申込みは必要ありませんので、直接、子ども読書室へお越しください。なお、5月5日は祝日ですが、17時まで開館しています。

研修報告

県外図書館研修に参加しました

12月から2月までの3か月間、子ども読書室職員が県外図書館での研修に参加しました。簡単ながらここにご報告をいたします。

12月1日から2月28日まで、東京都の調布市立図書館で研修させていただきました。調布市は人口約22万6000人、東京都のほぼ中央に位置しています。そこにある調布市立図書館には、中央図書館と10の分館があり、職員・嘱託職員の数は中央館と分館を合わせて200名を超えるという大規模な図書館です。

この研修期間中は、中央図書館内での4つの係と分館での勤務を経験させていただき、大規模館特有の運営の仕方や、先進的なサービスについて、実際の業務を通して学ぶことができました。

児童奉仕係の研修では、選定会やおはなし会にも参加させていただきました。新刊図書の選定では、1週間分の本すべてに目を通し、評価が必要なものに対してレビュースリップを作成していました。その評価をもとに、中央・分館職員の方が集まって選定会が行われていました。このレビュースリップは何年分も保存されていて、職員の方が「これは財産です」と話されていたのが印象に残っています。

また、すすめたい本を手にとってもらうための工夫として、様々な種類のブックリストを毎年改定しているとか、基本図書の複本が必ず開架にあるように気を配っているといったお話も聞かせていただきました。個人としての研鑽はもちろんのこと、レビュースリップやリストの作成、おはなし会やレファレンスなど、館として経験や実績を積み重ねていくことの大切さが実感されました。

新刊案内

『どこにいるのイリオモテヤマネコ』横塚眞己人／写真・文 小学館 489.53/30

沖縄県の西表島だけに住むイリオモテヤマネコの姿を求め、島に移住した作者による写真絵本。糞や足跡などの痕跡や、獲物となる動物の生態から推理することで、ついに出会えたイリオモテヤマネコ。この経験を通して作者は、生きもの同士の関係や気候などの自然界の繋がりをジグソーパズルに例え、その大切さを伝えています。低学年から。

『あたしのクオレ 上・下』 ビアンカ・ピッツォルノ／作 関口英子／訳 岩波書店 973/ピツ

1940年代から50年代にかけてのイタリアを舞台に、4年生に進級したプリスカ、エリザ、ロザルバの、性格も家庭環境も違う仲良し3人組を中心とした学校生活の様子が描かれています。クラスでの不公平に抵抗していく様子や、家族や親戚との交流などが、作者の子どもの頃の経験をもとに、プリスカたちの目線で月ごとに章立てされて構成されています。高学年から。

『ぼくのあかいボール』 イブ・スパンゲ・オルセン／作 ひしきあきらこ／訳 BL出版 CE/94/オル

ある日逃げ出した赤くて丸いぼくのボール。満員のバスの中を、公園を、パンやの工房を、交差点のど真ん中を、にわとり小屋を、跳ねる、転がる、また跳ねる。街中を跳び回ってボールが行き着いた先は、11人の王子様のいるお城の中でした。幼児から。

4月の行事

ストーリーテリング勉強会 (毎月第2水曜日) 4月12日(水) 9:30～12:00	子どもの本の読書会 (毎月第2木曜日) 4月13日(木) 10:00～12:00 『水妖の森』 廣嶋 玲子/作 橋 賢亀/絵 岩崎書店
Lim Lim 赤ちゃんのためのおはなし会 (毎月第3水曜日) 4月19日(水) 10:30～11:00 「おさんぽいこう」	おはなしのじかん (毎週土曜日) 4月1日、8日、15日、22日、29日 11:00～11:30
ブックトーク勉強会 (毎月第3金曜日) 4月21日(金) 10:00～12:00	子ども読書室の展示 「ともだちがいっぱい」 「おそとであそぼう」 「始めてみよう、読み聞かせ」

上記の行事の会場は、いずれも県立図書館子ども読書室です。



伝言板



児童図書館研究会 高知支部 総会

日時: 4月17日(月) 13:30～15:30

場所: NPO法人高知こどもの図書館

(高知市永国寺町6-16)

問い合わせ先: 南国市立図書館

武市 TEL 088-863-0469

伝言板は、子どもと読書に関する催し物などを掲載します。前月20日までにお知らせください。

県立図書館子ども読書室

TEL 088-872-6307 FAX 088-872-6479